

第3回 えびな南高齢者施設 運営協議会 会議録

日時：2025 年 12 月 20 日（土）14：00～16：00

場所：会議室（2 階）

参加者：（敬称略）

地域住民代表（自治会役員）	2 名
施設職員代表	1 名（特別介護課 課長補佐）
所長（司会）・副所長（記録）	2 名

欠席者：（敬称略）

地域住民代表（自治会役員）	1 名
ボランティア代表	1 名
家族代表	2 名

1. 挨拶

今回、欠席の方が重なってしまったが施設からお伝えしたいことが多くあるため、開催とした旨を説明しました。

2. 活動状況の報告

（1）2025 年度 7～9 月の活動報告について

- ①運営状況・・・・・・・・・・・・・資料①
- ②ボランティアについて・・・・・・・・・・・・・資料②
- ③事故・苦情について・・・・・・・・・・・・・資料③
- ④防災関係 ～ 訓練の実施状況
 - ・夜間想定避難訓練（7 月）・・・・夜間の火災発生を想定した訓練
 - ・総合防災訓練（9 月）・・・・地震と火災発生を想定した訓練

①～③について、資料にもとづき説明をしました。

ご意見・ご質問

● 運営状況に関して

Q. デイサービスで要介護 5 の人がいるが、在宅で介護をしているのだろうか。

A. 在宅の方の中にも介護度が高い方がいます。看取り期になっても引き続きショートステイ等の在宅サービスをご利用される方もいます。

介護度は、介護に要する時間と関連しています。また、介護度を認定する調査が数年毎と言う場合もあり、なかには状態が変わっても介護度が高いまま、あるいはその逆と言うケースもあります。

● ボランティアに関して

Q. 「踊りクラブ」と資料に記載されています。どのような活動ですか？

A. 運営協議会のボランティア代表で参加していただいている大矢さんに協力をいただいているクラブ活動です。参加されている方は、養護老人ホームの方が多いです。踊りを通じて利用者とお話したりなど、長年活動していただいています。

● 苦情の報告に関して

Q. △△ハラ問題など言われる時代だが、苦情というより、ミーティング等で解決できればよいのではないか。

A. 苦情は、個人に向けられたものであっても「個人の問題」とせず「組織全体」の問題として捉えています。原因は組織にあると捉え、原因に対する策に効果があったか否かまで確認していくシステムも構築しているので、それに沿って苦情の対応をしています。

(2) 感染症の発生状況について

7 月に職員 1 名コロナ感染ありましたが、それによる感染拡大はありませんでした。

(3) 社会福祉法人としての公益的取組み・・・・広報誌参照

①ライフサポート事業 ②就労支援事業

社会福祉法人は地域に還元する活動を求められています。

①②の取組みについて広報誌の裏面に事例を掲載しているのでご覧ください。

(4) 職員代表（部署の紹介）～ 特別養護課 課長補佐より

①理美容の取組み紹介

おしゃれを通して自分らしさを表現するための取組み（「利用者自身による理美容店の選択」）について、発表しました。

②施設内見学

発表後、3 階フロアを見学案内しました。

3. 地域住民代表より

- ・熱心に利用者のために取り組んでいること、また、苦情についても、個人ではなく、組織として受け止めて取り組んでいることに共感できました。
- 我々としても、そういう施設が地域にあることを有難いと思いました。

- ・「育成」はどの企業も問題だと思います。大変です。
コミュニケーションも難しい時代になりました。こちらの意図が通じないということもあると思います。
組織として、大事な「柱」となることは守りつつ、若い人が育ってくれるとよいと思います。
- ・利用者が楽しく過ごせるような施設運営をされていることに、地域としても協力していきたいです。

4. 次回の日程 第4回えびな南高齢者施設運営協議会
3月 7日（土） 10時 ～ 12時